

一般質問

3月定例会

熊谷 兼樹議員

Q バイオマス
産業都市構想は

A 研究を進める

町長 山崎 英樹

本町は、平成27年にバイオマス産業都市構想の選定を受けています。その中で事業化プロジェクトとして掲げられている次の2項目について問う。まず、温浴施設への薪ボイラーコンバーチャー整備、冬季園芸ハウス加温装置整備、竹資源利用システムの構築とあるが、それぞれの現状と課題を問う。

もう一点、バイオガス発電と既存RDF施設の併用の可能性等を検討とある。可燃ごみを熱エネルギー、或いは発電用として利用するには、事業として継続できる規模の設備が必要であり、その量的確保も不可欠である。

ごみ処理の方法について、雲南省との合同処理の方向性が示されている中で、どのように確保を図るのか。

温浴施設への薪ボイラーコンバーチャー整備は関係者と協議したが、設置スペースの確保、維持管理、運営の構築があり、増産体制不具合発生等の課題があり、計画は休止している。

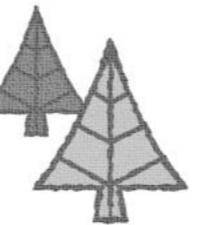
ハウス加温は、町内農家で省内企業が製作した燃焼器等の実証試験が行われ、成果と課題があり、今後改善を進めしていく。

可燃ごみ工エネルギー利用について、現在の出雲エネルギーセンターでの処理が平成33年度で終了することから、その対応を検討した。

その中で、分別破碎施設とバイオガス発電施設を整備し、可燃ごみ処理の効率化を提案したが、建設事業費やランニングコストが高額であることから現状では取り組めないと結果になった。



薪ボイラの導入が検討された加田の湯

Q 病児保育の
検討課題は何か。

町長は所信表明の中で、児童保育について言及された。具体的な検討課題は何か。

A 早期開設に
努力する

町長 山崎 英樹

一つは人材確保の問題で、新たに人材確保センターを設置し努力する。もう一つは施設の場所で、飯南病院付近を候補地にしているが、検討課題がある。早期の開設に努力する。



飯南病院周辺

平成29年度飯南町一般会計予算

DEBATE
討論

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律第8条の規定に基づき、飯南町農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。付則に、飯南町農業委員の選挙による委員の定数に関する条例を廃止する規定がある。

反対討論 伊藤 好晴 議員

農業生産力の向上と農業経営の合理化を図り、農業者の地位向上に寄与するという本来の役割を果たすために公選制は維持されねばならない。

賛成討論 長島 正一 議員

農業委員の役割は、農地の番人から農地の流動化により集積や農地保全・維持が重要視され、役割は大きく変化している。町長の任命制により適任者を指名するべきだ。

賛成討論 長島 正一 議員

〈琴引スキーコース〉
スキー場は家族連れの憩いの場として、全国的に復活の傾向にある。外国客にも雪は魅力のひとつとなっている。稼ぎ時に雪がないといふのが現在の問題だ。導入によって経費が大幅に下がる

賛成討論 長島 正一 議員

このほかの5件の事業に対し賛成理由を述べた。

[3月定例会]

全45議案のうち、反対等があった議案の採決結果は次のとおりです。

件 名	結果	難波俊司	伊藤好晴	永井章	長島正一郎	門眞一郎	熊谷兼樹	内藤真一	早稲田徹雄	高橋英次
飯南町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	可決	×	●	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町一般会計予算	可決	×	●	○	○	○	○	○	○	○
飯南町議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	可決	×	●	○	○	○	●	○	○	○

○賛成 ●反対 ×欠席議員

請願の採決結果

飯南町畜産振興に伴う堆肥センター整備に関する請願	全会一致採択
--------------------------	--------

第1回臨時会(2月8日開催)

固定資産評価審査委員会の委員の選任4件	全会一致同意
教育委員会の委員の任命	全会一致同意
平成28年度飯南町一般会計補正予算(第6号)	全会一致可決